

【報道関係各位】

2021年5月13日
一般財団法人 日本気象協会

「POLARIS」に新機能「船舶動静監視・評価」を実装した 「POLARIS Plus」の提供を開始

～日本気象協会はPOLARISシリーズにて船舶の海運・造船・
海洋開発分野でのお客さま企業のDX推進をサポートします～

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:長田 太、以下「日本気象協会」)は、2020年3月から開始した海運・造船・海洋開発向け気象海象サービス「POLARIS」(ポラリス)にて、新たに船舶動静監視・評価機能を追加した「POLARIS Plus」(ポラリス プラス)の提供を、2021年5月13日(木)から開始します。

■「POLARIS Plus」について

<機能/特徴>

船舶の動静監視システム

船舶の継続的な運用の効率化・改善のために事後評価の幅と質を向上させる

- ・気象海象の予測情報を用いた最適航海計画
- ・安全運航のための船舶動静監視
- ・気象海象の追算情報(注1)を用いた航海の事後評価

<導入メリット>

- ・これまでの事前の最適航海計画による船舶のGHG排出削減に加えて、事後の航海の定量評価が可能となる
- ・事後の定量評価は最終的なアウトカムとしての運用の効率化、改善計画のベースとなるデータであり、実船モニタリングデータと組み合わせることでデータの幅と質が向上する

■POLARIS シリーズについて

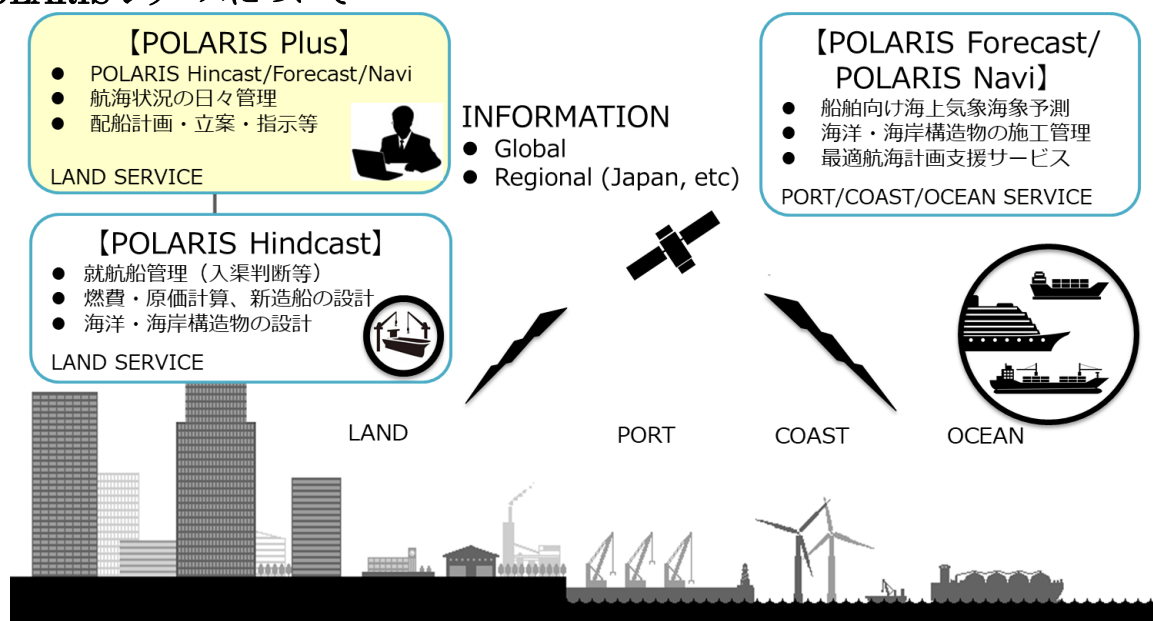


図 1 POLARIS シリーズ

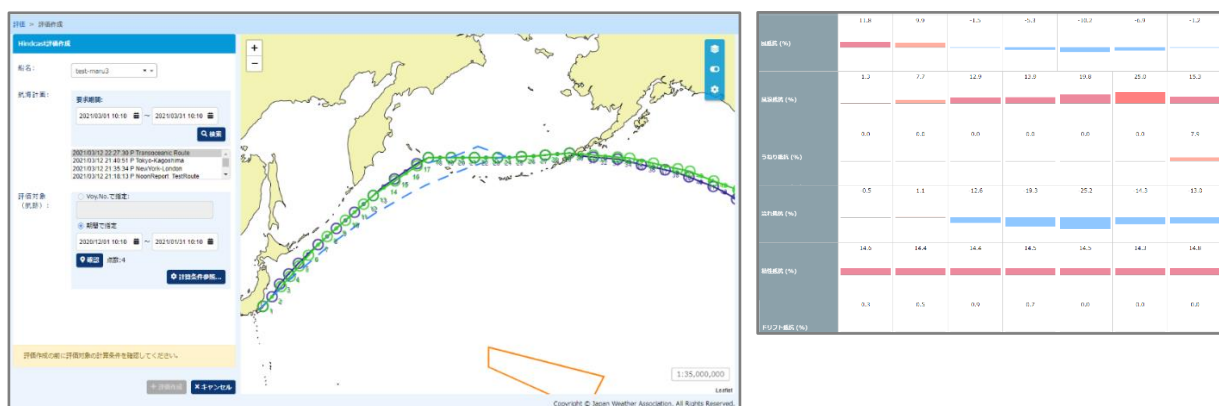


図 3 航海の航跡を選択して評価する画面例(注 4)

oPOLARIS Plus へのお問い合わせ(法人向け)

日本気象協会 社会・防災事業部 営業課

Tel:03-5958-8143 Mail:eigyou_bosai@jwa.or.jp

* 報道関係の方は日本気象協会 広報室までお問い合わせください。

注 1:「追算情報(Hindcast)」とは、再解析により算出した、最も確からしい過去の気象海象情報を示します。

注 2:DX レポート ～IT システム「2025 年の崖」克服と DX の本格的な展開～(経済産業省)

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_transformation/20180907_report.html

注 3:世界の大型外航既存船に対する CO2 排出規制を承認(国土交通省)

https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji07_hh_000164.html

注 4:航跡上の(船舶が遭遇する)気象海象、シーマージンといわれる気象海象による抵抗増加を把握することが可能です。

・製品名、サービス名などは一般に当協会の商標または登録商標です。

以上